

議 事 要 旨

会議名	第 27 回 町田市子ども読書活動推進計画推進会議		
日時	2024 年 7 月 17 日（水） 14：00～15：40	場所	中央図書館 ホール
出席者	大石委員 高橋委員 兼子委員 櫻井委員 松井委員 長尾委員 福田（比）委員 栗山担当係長（児童青少年課長代理） 香月子育て推進課長 高田教育総務課長 小松指導主事（指導課長代理） 中嶋図書館長 【事務局】竹川副館長 本郷担当課長 中川企画・地域支援係係長 山田サービス係担当係長 小林主事 吉田主任 野木主任 廣瀬主事	欠席者	吉成委員 福田（有）委員
項 目	議 事 内 容		
◎開会	・ 出欠確認 ・ 資料確認 ・ 委嘱書交付 ・ 中嶋図書館長挨拶 ・ 本会議は、「第四次町田市子ども読書活動推進計画 2023 年度取組結果及び 2024 年度取組予定」「第五次町田市子ども読書活動推進計画の策定状況」それぞれの報告及び情報交換を趣旨とする。		
◎委員紹介	・ 新規委員となった大石委員、兼子委員の自己紹介		
◎議題 1	「第四次町田市子ども読書活動推進計画 2023 年度取組結果及び 2024 年度取組予定」について ・ 資料 2 を用いて、各取組担当課から、第四次町田市子ども読書活動推進計画 2023 年度取組結果及び 2024 年度取組予定の報告を行った。 （事務局） 各取組の自己評価の基準は、『A：予定以上に取組めた、B：予定通りに取り組めた、C：予定よりも取組めなかった』となっている。		

	○「基本目標Ⅰ」についての報告 (図書館) ●1-1 図書館でのおはなし会 参加者はコロナにより、少し減少した。また、図書館ボランティア 10 名が新たに増えた。 (子育て推進課) ●1-2 「子育てひろば」でのおはなし会 保育園・幼稚園に入る前のお子さんにとって、紙芝居等は刺激になる。普段の活動に絵本は深くかかわっている。コロナで参加人数が少なくなったこともあったが、現在は持ち直している。 (児童青少年課) ●1-3 学童保育クラブでのおはなし会 高学年の児童が、おはなし会に話し手として参加し、低学年の子を楽しませていた。 ●1-4 子どもセンターでのおはなし会 各子どもセンターにて、おはなし会を行った。 (事務局) 基本目標Ⅰの主な取組として、子ども向けおはなし会の実施や子どもへの読書活動普及などがある。各取組項目の自己評価としては、16 項目すべてが B 評価だった。取組結果としては、2022 年度と同水準でおはなし会や講座などのイベントを実施することができた。 ○「基本目標Ⅱ」についての報告 (指導課) ●2-7 学校図書館の蔵書整備 本が摩耗していくため、買い替えを中心に行っている。 (教育総務課) ●2-7 学校図書館の蔵書整備 全校で学校図書館図書標準を達成し、学校図書館図書廃棄規準(案)を作成した。 (図書館) ●2-8 学校図書館支援貸出 学校図書館支援貸出を利用しやすくするために、「テーマ別貸出セット」を追加で購入した。
--	---

◎議題 2	(事務局) 基本目標Ⅱの主な取組として、図書資料や整備や学校図書館の充実、保護者に向けた読書イベントの情報発信などがある。各取組項目の自己評価としては、15 項目中、A 評価が 2 つ、B 評価が 13 だった。取組結果としては、図書資料の充実に向けて、図書館や子どもセンター・学童クラブ等の蔵書数を増やす、各取組で図書館の団体貸出を活用してもらうなど、図書の充実を図ることができた。また、様々なおはなし会や講演会の情報発信をすることができた。英語多読について図書の充実、イベントによる周知ができたため、A 評価となっている。 ○「基本目標Ⅲ」についての報告 (指導課) ●3-1 学校図書館担当者研修 1 回目の学校図書館担当者研修を悉皆研修とすることができた。第 2 回、第 3 回の研修では図書指導員同士での情報共有の時間を設けた。 (図書館) ●3-4 保護者向け絵本の読み聞かせ講座の実施 中央図書館のみで行っていたが、2022 年度の打ち合わせを経て、新たに金森図書館、忠生図書館でも行った。 (事務局) 基本目標Ⅲの主な取組として、学校図書に関わる人への研修や保護者等への講座、読み聞かせボランティアの育成がある。各取組項目の自己評価としては、6 項目すべて B 評価だった。取組結果として、概ね 2022 年度と同水準で学校関係者への研修や保護者等への講座を実施することができたことで B 評価が多くなった。 ・報告書（案）を承認し、内容を確定した。 「第五次町田市子ども読書活動推進計画」について ・資料 3 を用いて、事務局から、第五次町田市子ども読書活動推進計画の策定状況について説明した。 (事務局) 1 月の子ども読書活動推進計画推進会議の後、計画策定委員会と作業部会を各 2 回行い、その際にいただいた意見を踏まえ、計画案を作成した。 前回の子どもの読書活動推進計画推進会議で示した骨子や取組に、国や東京都の動向、町田市の現状や課題、コラムや参考資料を加え、計画の構成を整理したものを計画案とした。
--------------	---

◎情報交換	成果指標の掲載場所について、当初は第2章の最後に掲載していたが、第3章の基本理念・基本目標後にすることで計画としての目指す姿が伝わるようにした。 なお、作業部会から「図書館プランナーの活動や写真をもっと掲載した方が良いのでは」との意見があったため、コラムで詳しく掲載することとした。本コラムは現時点では編集中であり、今後行うイベントの様子や写真等を追記したいと考えている。 また、9月に市民意見募集を行うため、皆様が短時間で資料を読むことができるよう、計画本文をコンパクトにまとめた概要版を作成した。 ◇質疑 (質問：福田比呂子委員) 基本目標3の学校関係者への研修について、現状は欠席すると情報共有してもらうことができなくなっている。研修会実施後に資料を提供していただくなどの対応をしていただけるとありがたい。 (回答：指導課 小松指導主事) そういった声はいただいている。研修への申込を行っていたが来られなかった方には後日資料を渡す等、情報提供の方法は検討する。 (中嶋委員長) 皆様が行っている子どもの読書活動推進のために行っている工夫や、ご意見等をおうかがいしたい。 (兼子委員) 子どもが通っている中学校では、朝読書が行われている。子どもは中学生になったが、小学校の図書館ボランティアの人数が少ないため引き続き務めている。図書館ボランティアの活動の一環として、食育を兼ねて、大型絵本「給食番長」を読んだ。子どもたちは大型絵本を見たことがないようで、興味深そうだった。 (大石委員) だいたいの中学校では、10分程度の朝読書を行っている。本を持参しない子のために、PTAの方が寄付してくれた本があり、学級図書として教室に置いている。また、当学校では、本に親しむため年に一回「ブックフェスタ」を開催し、ビブリオバトル等も行っている。 読書量について、読む子は読み、読まない子は読まない。二極化している印象である。学校図書館の貸出は、肌感覚では増えている。
--------------	--

(福田比呂子委員)

図書の授業の時に、静かに本を読んでいた、みんな本を読むのが好きだと思っていた。しかし、漢字がわからないと困っている子に、「国語辞典で調べたら」と声をかけたところ、面倒だとの反応が返ってきてカルチャーショックを受けた。他の子も、わからない漢字を調べる時は国語辞典ではなく、スマホ等電子機器で調べているようだ。「紙で調べる」ということから離れていると感じた。それからは、自分の価値観ではなく、今の世の中ではどうなのか、と考えるようになった。

(高橋委員)

南成瀬小学校では、年に一度「おはなし集会」を行っている。前回は、全校生徒に向けて、落語絵本の読み聞かせを行った。当初は、絵本をスライドに映して読み聞かせをしようと思っていたが、新しくボランティアに来た方から、「最近の子どもたちは動きがないと退屈してしまうから少し動きをつけてはいかがか」と提案があった。寸劇のような形で行ったところ、子どもたちから好評だった。

(櫻井委員)

幼稚園では絵本・図鑑が身近である。当園では、それぞれの学年に合わせた本をクラスに置いている。また、月に1冊保護者の方に絵本を購入してもらい、先生による読み聞かせを行っている。

先日は、忠生図書館に行って、子どもたちが好きな本を借りるという機会を設けた。「ここでは静かにする」「本を大切に扱ってね」と先生から伝えたとこ、普段腕白な子も丁寧に本を扱っていた。マナーも身に着くと思うので、また機会を設けられたらと考えている。

二学期から、保護者の読み聞かせボランティアを募集した。各保護者が好きな本を持参して、読んでいただく機会を設けている。

(松井委員)

毎日絵本の読み聞かせを行っている。2歳から5歳の子の中には、保育者のやり方を真似て、他の子に読み聞かせをしてあげている子もいる。

また、絵本にPOP等を付けて、親子で絵本を手にとれるスペースを設置している。子どもにお願いされて、帰りがけにその絵本を保護者が読んでいる様子を毎日のように見かける。親子の様子も知ることができるので良い取組ではないかと考えている。

園だよりで、保育園で読んだ絵本や子育てにつながる絵本の情報発信をしたいと考えている。また、子育て広場にて地域の方にも絵本に触れる機会を持っていただけたら嬉しい。0歳児の赤ちゃんが絵本に触れる機会の重要性を伝えたい。

◎その他	(長尾委員) おはなし会ボランティアの講座を受け、ボランティア活動をしている。 おはなし会は、0歳児の参加が多い。育休期間が終わると保護者が就労するため、保育園等にお子さんが入ると平日は来られなくなる方が多いが、土日でのおはなし会も行うようになったため、保護者の休日にあたると来られる方もいるようだ。 0歳児の時は、物語というよりは擬音等、言葉の勉強として読み聞かせを行っているが、1歳になると物語に接するようになる。 事務局から次回会議開催予定の連絡を行った。 以上
-------------	---